### 平成27年度 福島県保険者協議会医療費調査部会事業報告【概要版】

平成26年3月に健保法、国保法に基づく保健事業実施指針が一部改正され、高確法に基づく保健事業実施指針が新たに示されました。 それらの指針の全てに、データヘルス計画の策定が記され、国民の健康の保持増進に向けてデータに基づく効率的効果的な保健事業の 実施が全ての医療保険者に求められています。特に、我が国では生活習慣病による死亡率が年々増加し生活習慣病予防対策が喫緊の課 題となっています。40歳以上の県民が受診する特定健診データおよび75歳以上(65歳~74歳の一定の障害があると認定された者を 含む)の県民が受診する後期高齢者健診は、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策等を行う上で非常に重要なデータです。

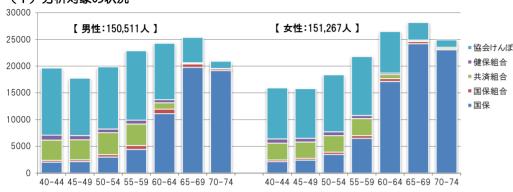
今年度、福島県保険者協議会では、県内15医療保険者のうち14医療保険者の健診データの集約分析を行い資料化いたしました。

#### 本資料を県民の健康施策の基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

#### I. 特定健診結果の概要

本報告は、平成26年度特定健診データ提供に同意頂いた国保(市町村国保・国保組合)、共済組合、健保組合、協会けんぽの データを分析しました。提供いただいたデータすべてを分析の対象としました。

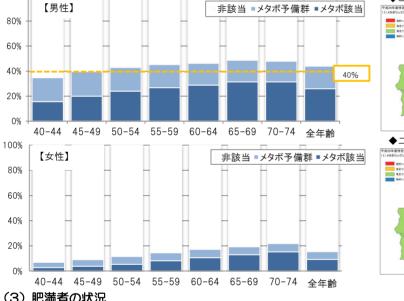
#### (1) 分析対象の状況



平成26年度は301,778人の 特定健診データを分析対象としました。

	男性	女性	男女計	(%)
40-44歳	19613	15897	35,510	11.8%
45-49歳	17730	15772	33,502	11.1%
50-54歳	19835	18348	38,183	12.7%
55-59歳	22840	21770	44,610	14.8%
60-64歳	24261	26450	50,711	16.8%
65-69歳	25341	28132	53,473	17.7%
70-74歳	20891	24898	45,789	15.2%
合計	150,511	151,267	301,778	100%

#### (2) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の状況







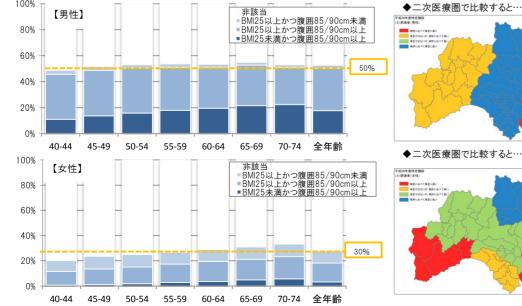
#### 福島県男性の40%が 「メタボ・メタボ予備 群」です!

男女ともにメタボ予備群は 全年代にほぼ同じ割合でみ られますが、メタボ該当者 では男性は65-69歳をピー クに、女性は加齢とともに 増加しています。

男性・女性ともに相双地区 のメタボ該当者割合が高い 状況です。

※H25厚労省発表において福島 県はメタボ・メタボ予備群該当 者率は全国ワースト第3位で

#### (3) 肥満者の状況



### 福島県男性の 「**肥満**」は深刻です!

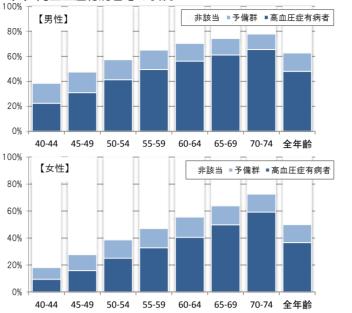
男性は、ほぼ全年代で2人 に1人が肥満の傾向にあり **₹**₫.

若い世代ではBMIおよび腹囲 の両方で基準値以上の肥満 の方が多い傾向があるが、 腹囲肥満は加齢により増加 しています。

女性は加齢とともに肥満者 割合が増加、約3人に1人が 肥満者の傾向にあり、男性 と比較してBMI肥満の割合が 高い傾向があります。

相双・いわき地区の男性、 相双・いわき・南会津地区 の女性に肥満者割合が高い 状況です。

### (4) 高血圧症有病者等の状況



#### ◆二次医療圏で比較すると・



### ◆二次医療圏で比較すると…



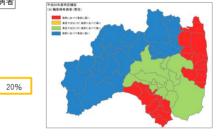
#### 40歳代男性の約40% が、すでに「高血圧 症・予備群」です。

男女共、有病者及び予備 群は加齢とともに増加の 傾向がみられます。特に 男性は40歳代で3人に1 人が有病者又は予備群と なっています。

相双・南会津地区の男 性、南会津地区の女性の 高血圧症有病者割合が高 い状況です。

#### (5) 糖尿病有病者等の状況 ◆二次医療圏で比較すると…

非該当 ■ 予備群 ■ 糖尿病有病者

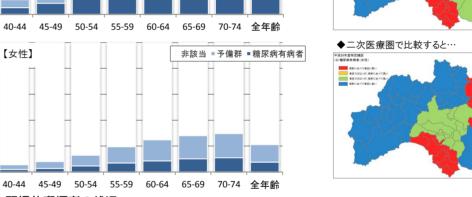


# 約5人に1人に 「糖尿病」がみられま

60歳以降の男性の

男性は、65-69歳をピー クに、女性は加齢ととも に割合が増加していま

相双・県南地区で男女共 に糖尿病有病者割合が高 い状況です。



#### (6) 習慣的喫煙者の状況

80%

60%

40%

20%

100%

80%

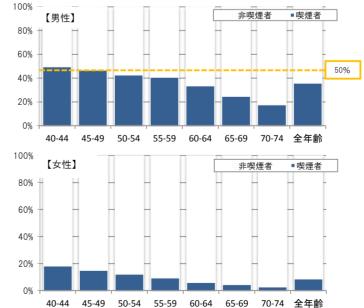
60%

40%

20%

40-44

【女性】



#### ◆二次医療圏で比較すると・





## 40歳代男性の 約2人に1人が 「習慣的喫煙者」で

男女共に若年層の割合が 高く、加齢とともに減少 傾向となっています。

県北地区では男女共に、 他地域に比べ、習慣的喫 煙者の割合が極めて低い 状況にあり、男性の県中 地区および女性の県中・ 相双地域では昨年度に比 ベ標準化該当比の減少が みられます!

平成24年度国民健康•栄養 調査において福島県の習慣 的喫煙者の割合は、 全国ワースト第1位です。

※1 標準化該当比 受診者の性年齢構成が二次医療圏ごとに異なるのを補正する目的で標準化死亡比(SMR)の計算方法に準じて算出した。また、二次医療圏と基準である。 る福島県計との差が偶然であるか否かを示すためにポアソン分布を仮定した検定を行った。

県計に比べ有意に高い 有意ではないが、県計に比べ高い 有意ではないが、県計に比べ低い 県計に比べ有意に低い

## 平成27年度 福島県保険者協議会医療費調査部会事業報告【概要版】

平成26年3月に健保法、国保法に基づく保健事業実施指針が一部改正され、高確法に基づく保健事業実施指針が新たに示されました。 それらの指針の全てに、データヘルス計画の策定が記され、国民の健康の保持増進に向けてデータに基づく効率的効果的な保健事業の 実施が全ての医療保険者に求められています。特に、我が国では生活習慣病による死亡率が年々増加し生活習慣病予防対策が喫緊の課 題となっています。40歳以上の県民が受診する特定健診データおよび75歳以上(65歳~74歳の一定の障害があると認定された者を 含む)の県民が受診する後期高齢者健診は、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策等を行う上で非常に重要なデータです。

今年度、福島県保険者協議会では、県内15医療保険者のうち14医療保険者の健診データの集約分析を行い資料化いたしました。

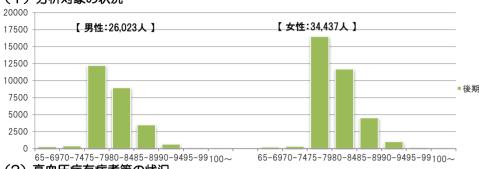
#### 本資料を県民の健康施策の基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

#### Ⅱ、後期高齢者健診結果の概要

本報告は、平成26年度後期高齢者健診データ提供に同意頂いた後期高齢者医療広域連合のデータを分析しました。 提供いただいたデータすべてを分析の対象としました。

ただし、平成26年度の分析では電子データにより管理された健診情報だけではなく、紙データにより医療機関から提出された健診データも 合算し集計に含めております。また、年齢階層および二次医療圏によっては受診者数が少ないため個人の影響を受けやすい状況も見て取れます。 そのため本報告は参考資料としてご活用いただければ幸いです。

#### (1) 分析対象の状況



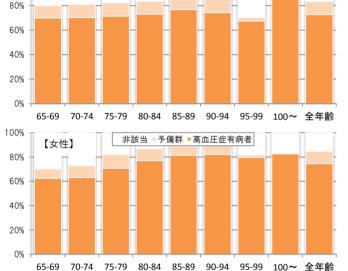
#### 平成26年度は60,460人の

	男性	女性	男女計(%)	
65-69歳	278	224	502	0.8%
70-74歳	382	316	698	1.2%
75-79歳	12212	16474	28,686	47.4%
80-84歳	8950	11695	20,645	34.1%
85-89歳	3484	4535	8,019	13.3%
90-94歳	648	1017	1,665	2.8%
95-99歳	59	149	208	0.3%
100歳~	10	27	37	0.1%
合計	26,023	34,437	60,460	100%

#### (2) 高血圧症有病者等の状況

【男性】

100%



非該当 ■ 予備群 ■ 高血圧症有病者

#### ◆二次医療圏で比較すると…

◆二次医療圏で比較すると…



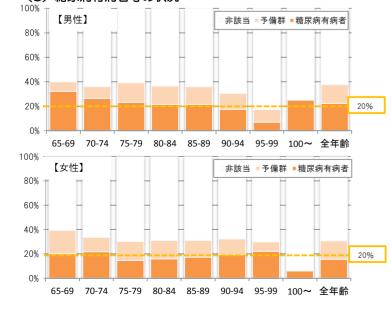
#### 後期高齢者の約80% が、「高血圧症・予備 群」です。

男女共、後期高齢者にお ける有病者及び予備群の 割合は高い傾向がみら、5 人のうち4人が有病者又は 予備群となっています。

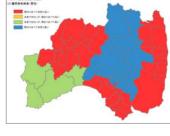
特定健診同様に80代まで は加齢とともに増加傾向 が伺えます。

県北地区以外の地域では 男女共に、高血圧症有病 者割合が高い傾向にあり ます。

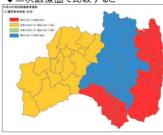
## (3) 糖尿病有病者等の状況



#### ◆二次医療圏で比較すると



## ◆二次医療圏で比較すると



#### 後期高齢者の 約5人に1人に 「糖尿病」がみられま す。

65-84歳では男性の有病 者割合が高く、90-99歳 では女性の割合が高い傾 向にあります。

会津地区の男性と県南・ 相双・いわき地区の男女 で糖尿病有病者割合が高 い状況です。

#### (4) 脂質異常症の状況

80%

20%

80%

60%

40%

20%

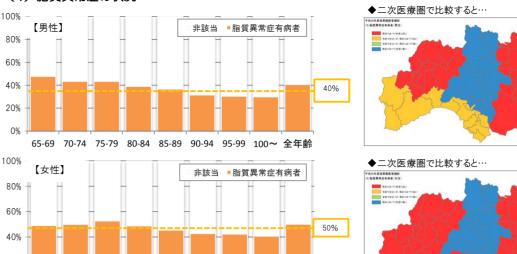
100%

80%

60%

40%

20%



### 後期高齢者女性の 約2人に1人が 「脂質異常症」

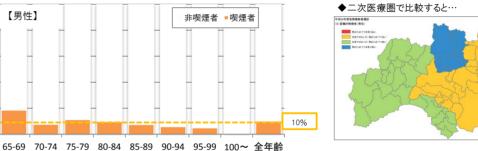
です。

男女共に80代を境に加 齢とともに減少傾向と なっています。

県北・県中地区以外の地 域では男女共に脂質異常 症有病者の割合が高い傾 向にあります。

#### (5) 習慣的喫煙者の状況

65-69 70-74 75-79 80-84 85-89 90-94 95-99 100~ 全年齢



非喫煙者 ■喫煙者



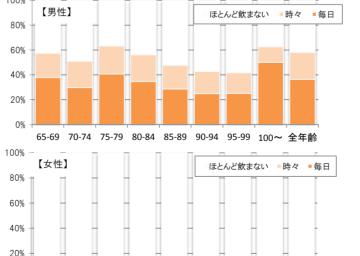


## 後期高齢者男性の 約10人に1人が 「習慣的喫煙者」

特定健診の結果同様に男 女共に加齢とともに減少 傾向になっています。

県北地区の男性では他地 域に比べ習慣的喫煙者の 割合が極めて低い状況で

### (6) 習慣的飲酒者の状況



65-69 70-74 75-79 80-84 85-89 90-94 95-99 100~ 全年齢

65-69 70-74 75-79 80-84 85-89 90-94 95-99 100~ 全年齢

# ◆二次医療圏で比較すると…





## 後期高齢者男性の 約3人に1人が 「習慣的飲酒者」

習慣的飲酒者は明瞭では ないものの75-99歳で加 齢とともに減少傾向に なっています。

男性では県北地区が、女 性では会津・南会津地区 が他地域に比べ習慣的飲 酒者の割合が高い状況で

※1 標準化該当比 受診者の性年齢構成が二次医療圏ごとに異なるのを補正する目的で標準化死亡比(SMR)の計算方法に準じて算出した。また、二次医療圏と基準である。 る福島県計との差が偶然であるか否かを示すためにポアソン分布を仮定した検定を行った。

県計に比べ有意に高い 有意ではないが、県計に比べ高い 有意ではないが、県計に比べ低い 県計に比べ有意に低い